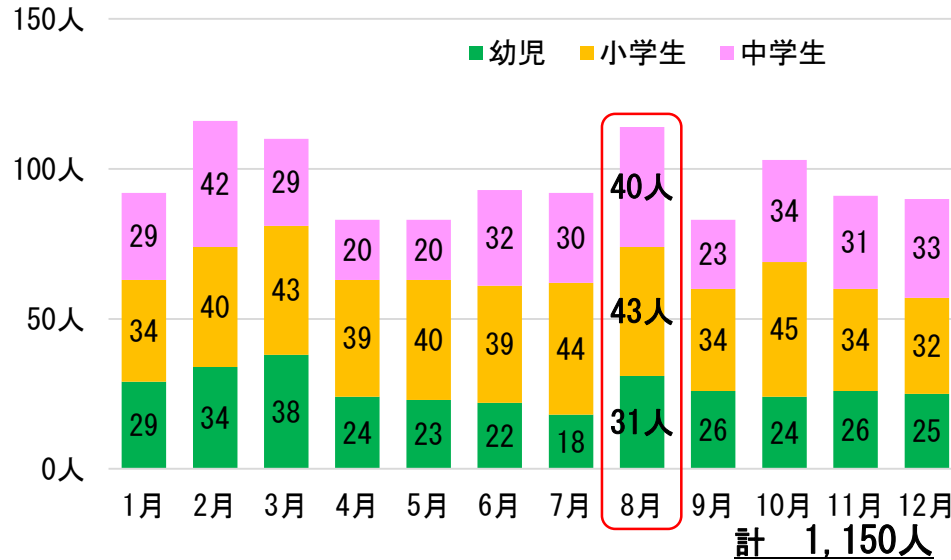


夏休みのこども（中学生以下）の交通事故被害

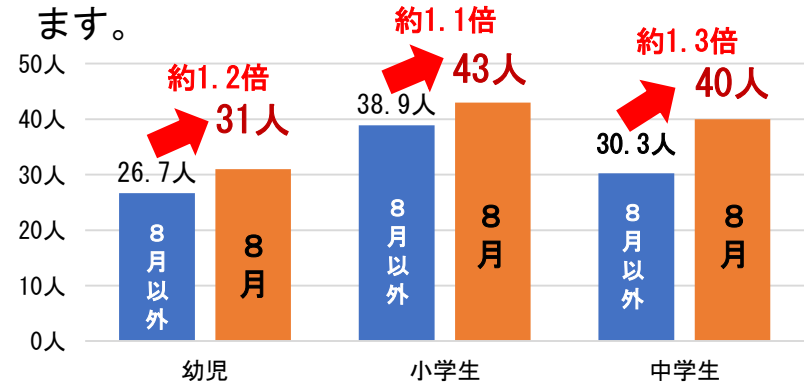
～ 過去5年間（R2～R6）の人身交通事故から ～

《 月別・学齢別被害状況 》



8月は夏期最多月!!

8月は、こどもの交通事故被害が年間で2番目に多く、特に中学生の被害は8月以外の月の約1.3倍の発生となっています。

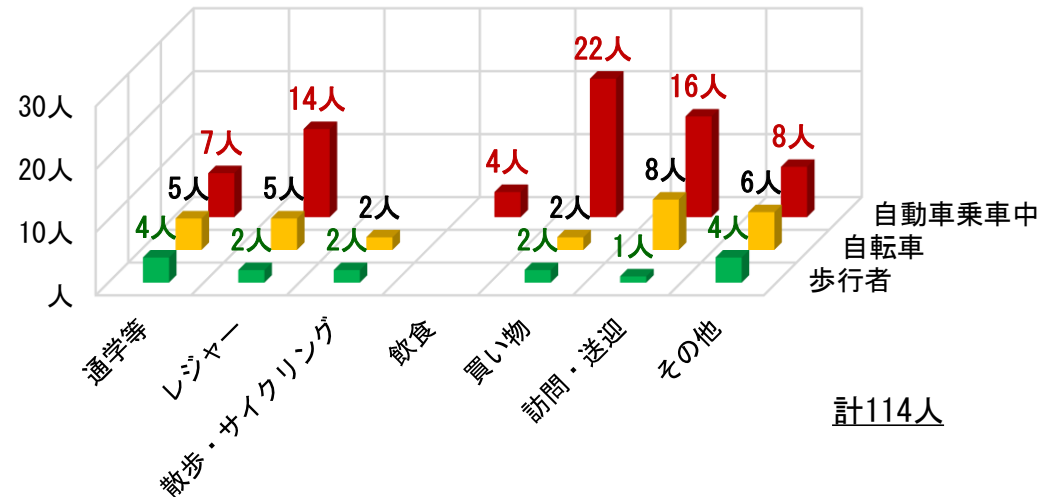


《 8月中における当事者・通行目的別被害状況 》

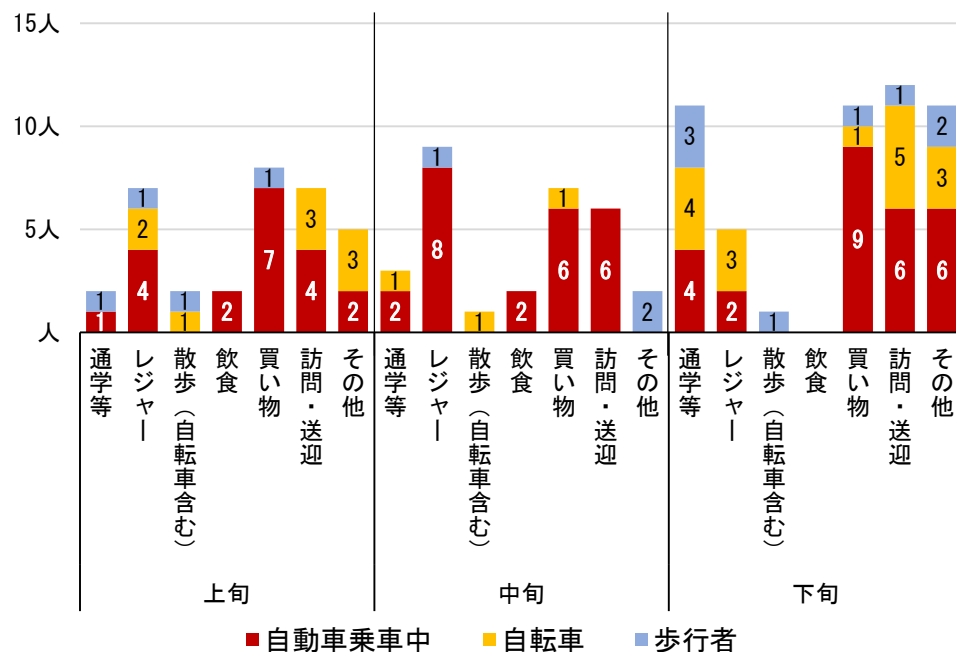
買い物・訪問・レジャー時の自動車乗車中被害が多い

8月は夏休みということもあり、買い物訪問、レジャー時の自動車乗車中の被害が多く発生しています。

また、自転車乗車中の被害では友人宅などへの訪問時に事故が多く発生しています。



《 8 月中の旬・通行目的別被害状況 》

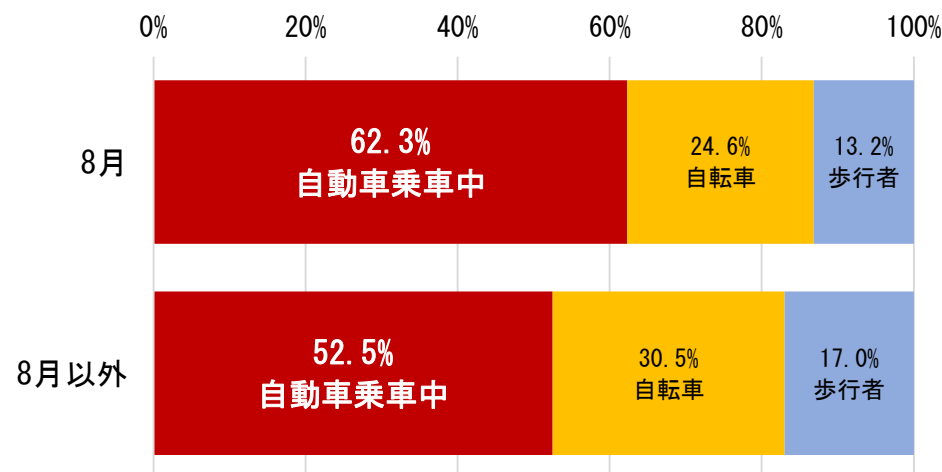


8月中旬はレジャーでの自動車乗車中被害が多く、下旬は買物や訪問での自動車乗車中被害が多い。

自転車乗用中の被害は上旬・下旬に友人宅などへの訪問が多い。

8月はそれ以外の月と比較して自動車乗車中の被害が多い。

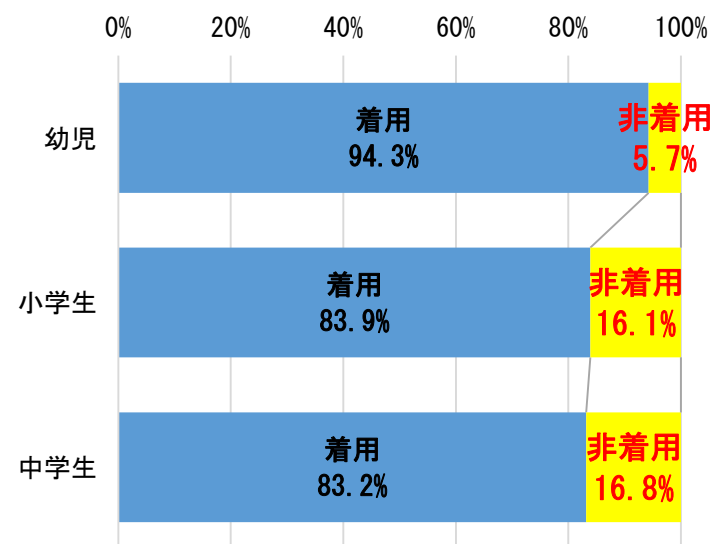
《被害時の状態別》



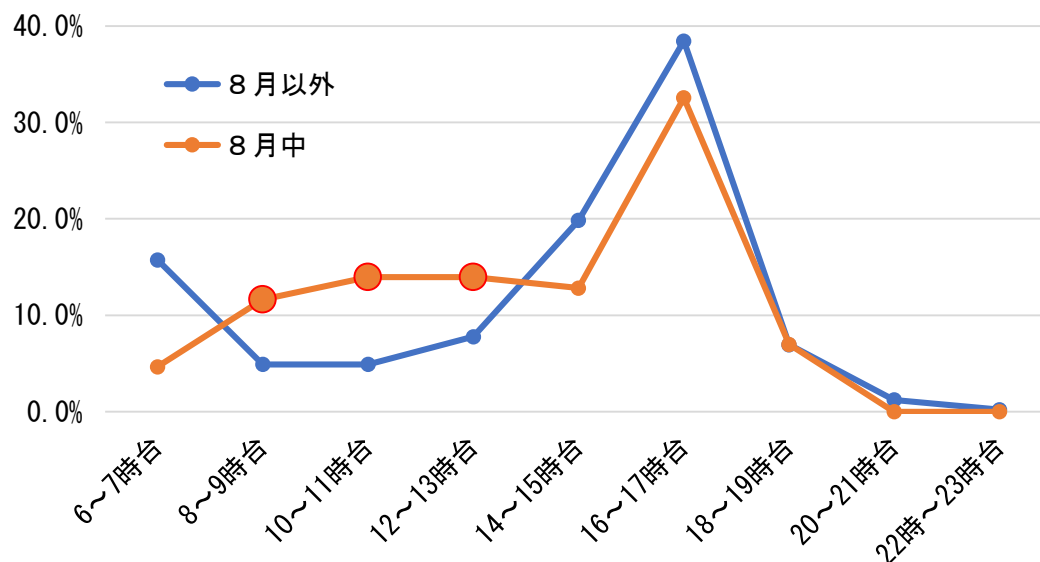
年齢が高くなるほど、シートベルト非着用者の割合が高くなる。

シートベルト着用状況

年間の人身事故で集計



《 歩行中・自転車乗用中の時間帯別被害 》

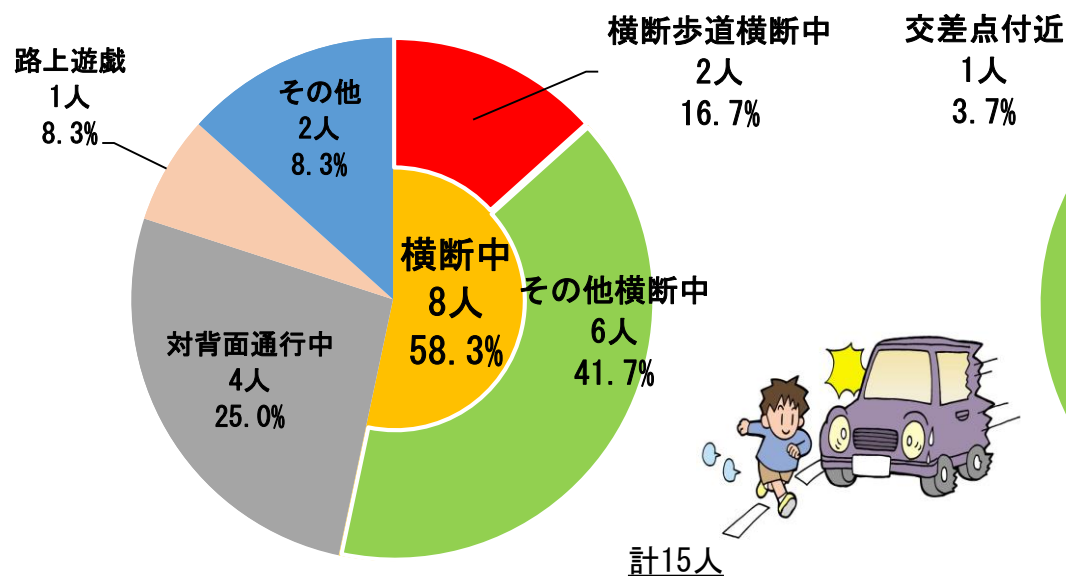


歩行者、自転車の事故発生時間帯を見ると、年間を通じて16・17時台が多いが、8月は8～13時台に多く発生しています。

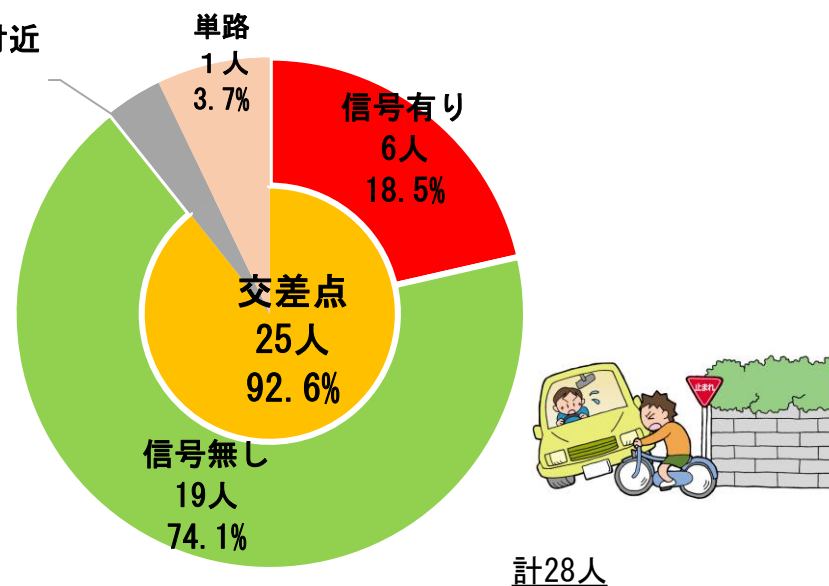
また、8月の歩行者被害のうち、道路横断中の事故が全歩行者被害の約6割を占め、横断歩道での事故も発生しています。

自転車は交差点での事故が9割強を占め、特に信号機の無い交差点での事故が多く発生しています。

《 8月中の歩行中被害 》



《 8月中の自転車乗用中被害 》





児童・生徒の皆さんへ

歩行者の 皆さんへ

- ・道路を横断する際は、一旦立ち止まり、左右の安全を確認しましょう。
- ・手をあげて（ハンドサイン）、運転者の目を見て（アイコンタクト）確認するなど、運転者に対して横断する意思を伝えましょう。
- ・車が確実に止まったことを確認してから横断を開始しましょう。
- ・信号機のある場所では、信号に従って横断しましょう。
信号機が青色にかわってもすぐに横断せず、一回止まって車が来ていないか確認し、右左折の車にも気を付けて横断を開始しましょう。
- ・早朝や夕暮れ時・夜間は反射材を着用しましょう。



自転車の 皆さんへ

- ・信号に従って通行しましょう。
- ・一時停止場所では、必ず一時停止をして確実に安全確認をしましょう。
- ・見通しの悪い交差点では、スピードを落とし、安全を十分に確かめて通行しましょう。
- ・道路を横断する際は左右・後方の安全を確認して横断しましょう。
- ・自転車を利用する際は被害軽減のため、自転車乗車用ヘルメットを着用しましょう。



ドライバーの皆さんへ

- ・夏休みの時期は、交通環境が大きく変化します。あらゆる時間帯に、子どもとの事故リスクがあることを認識して下さい。
- ・横断歩道に近づいたら、速度を落とし、歩行者の有無を確認し、歩行者・自転車がいる場合は、手前で停止して下さい。
- ・住宅街等の生活道路は、特に注意して運転して下さい。
- ・相手が「出てこないだろう」「止まるだろう」は危険です。「出てくるかもしれない」などの「かもしれない運転」を心がけ、安全運転をお願いします。

